## 410

偏光面を揃えたときの振幅をA、透過光の強さが $I_0$ の時の振幅をA'とすると図のようになる。 図より、

 $A' = A \cos \theta \quad \cdots \text{ } 1$ 

が得られる。

光の強さ(波のエネルギー)は振幅の2乗に比例するので、

$$I_0: I = A^2: {A'}^2 \qquad \cdots ②$$

①,②式より、

$$I \cdot A^{2} = I_{0} \cdot A^{2} \cos^{2} \theta$$
  

$$\therefore I = I_{0} \cos^{2} \theta$$

また、上式に  $I = \frac{1}{2}I_0$  を代入して、

$$\frac{1}{2}I_0 = I_0 \cos^2 \theta$$

$$\cos \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$$
$$\therefore \theta = 45^{\circ}$$

$$\theta = 45^{\circ}$$

